

日本の大都市 東京都区部+20の政令指定都市

都市名		人口
0	東京都区部	9,555,919
1	大阪市	2,725,006
2	横浜市	3,740,172
3	名古屋市	2,320,361
4	神戸市	1,527,407
5	京都市	1,468,980
6	北九州市	945,595
7	川崎市	1,516,483
8	福岡市	1,579,450
9	札幌市	1,955,115
10	広島市	1,199,252

都市名		人口
11	仙台市	1,088,669
12	千葉市	977,247
13	さいたま市	1,295,607
14	静岡市	694,643
15	堺市	831,017
16	新潟市	800,582
17	浜松市	793,695
18	岡山市	721,329
19	相模原市	723,012
20	熊本市	739,556

日本の政令指定都市20都市

多すぎて
覚えられない！💧

札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市
新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市
神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市

↓ 地域で分類

東北/北海道	2都市
関東	5都市
中部	4都市
近畿	4都市
中国	2都市
九州	3都市

↓ 人口で分類

200万以上	3都市
150万以上	4都市
100万以上	4都市
80万以上	4都市
70万以上	4都市
それ以下	1都市

↓ 指定年で分類

1956年	5都市
1960年～	4都市
1980年～	3都市
2000年～	6都市
2010年～	2都市

自分で**適当に分類**してみると覚えられる

分類例① 地理的な"つながり度"

グループA
三大都市圏

東京 名古屋 大阪

グループB
地方中心都市

札幌 仙台 広島 福岡

グループC
関東

横浜
川崎
さいたま
千葉
相模原

グループD
中部

新潟
浜松
静岡

グループE
近畿

神戸
京都
堺

グループF
中国・四国

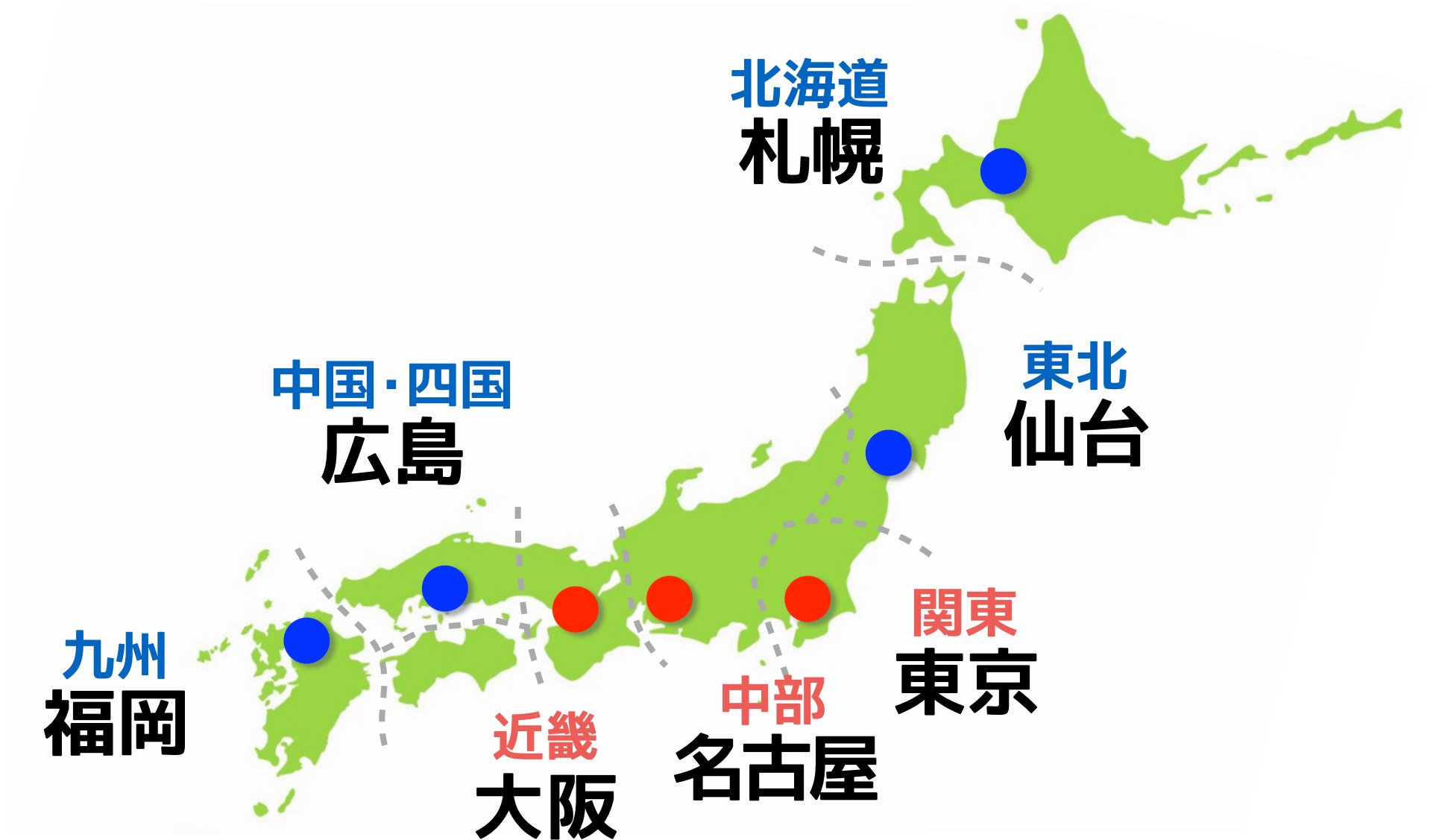
岡山

グループG
九州

北九州
熊本

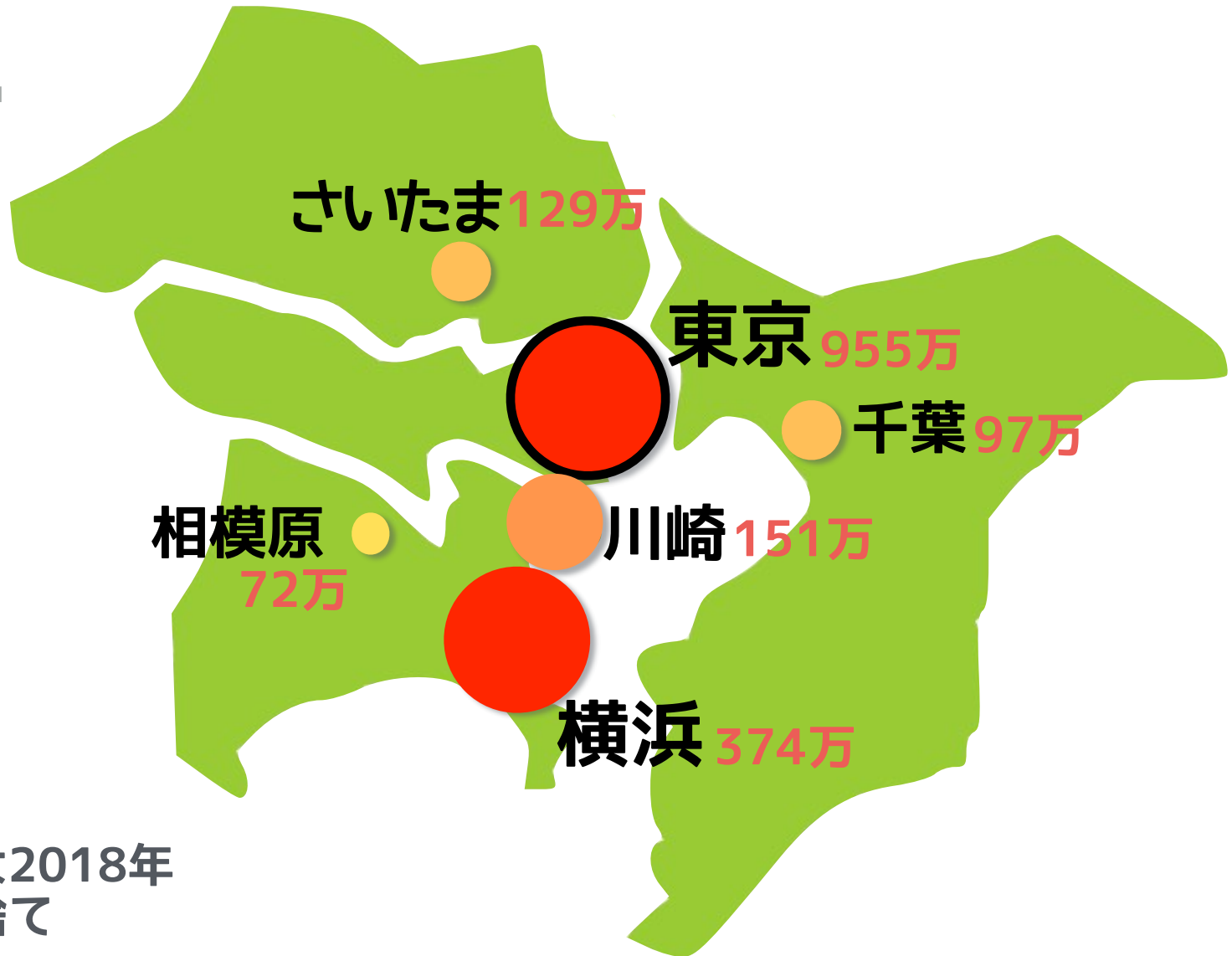
分類例① 地理的な"つながり度"

三大都市圏 + **地方中心都市**

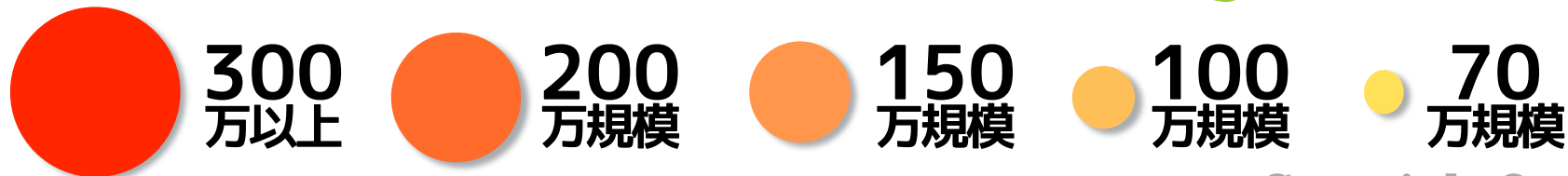


分類例① 地理的な"つながり度"

グループC 関東

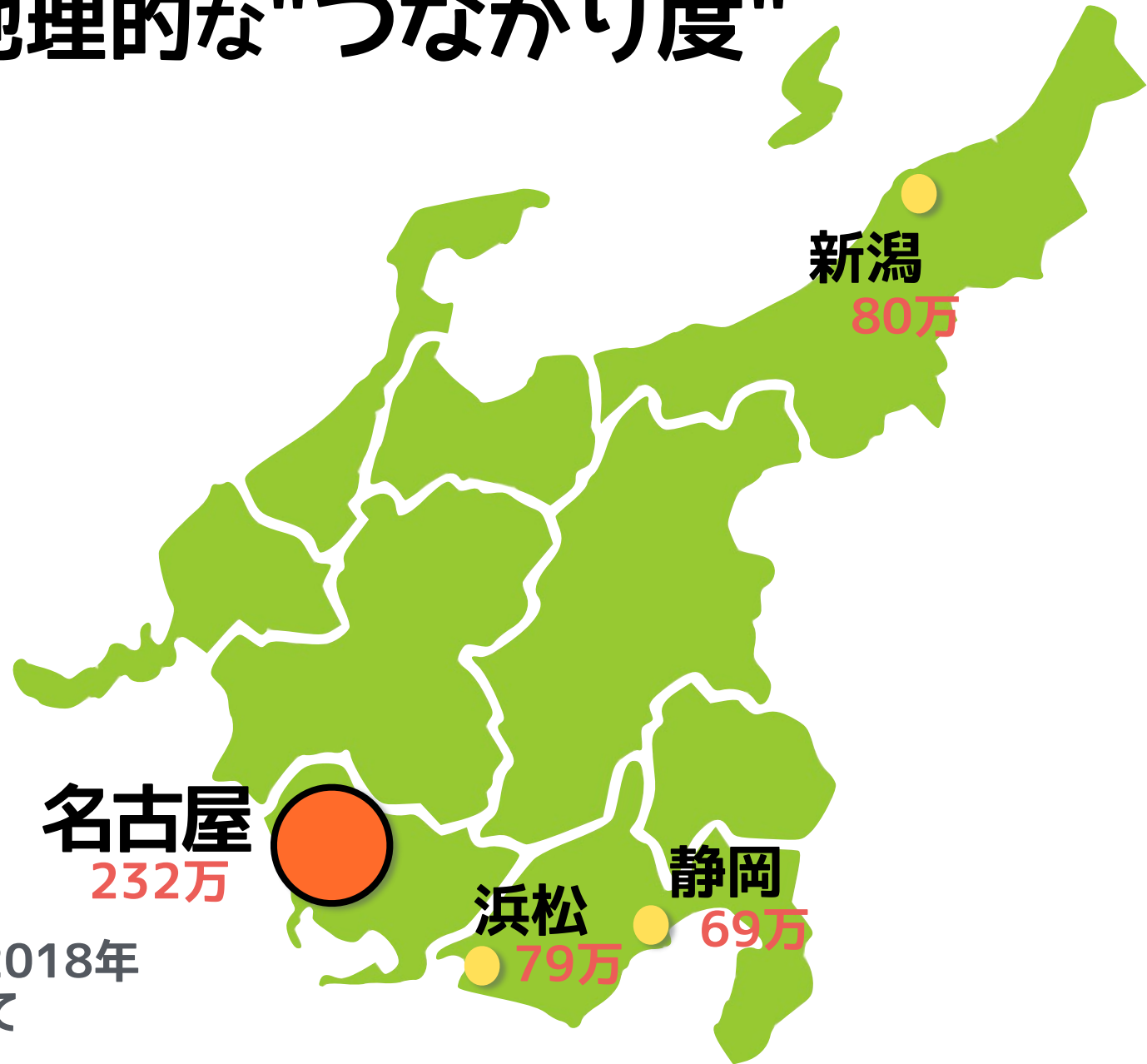


人口の統計データは2018年
1万人未満は切り捨て

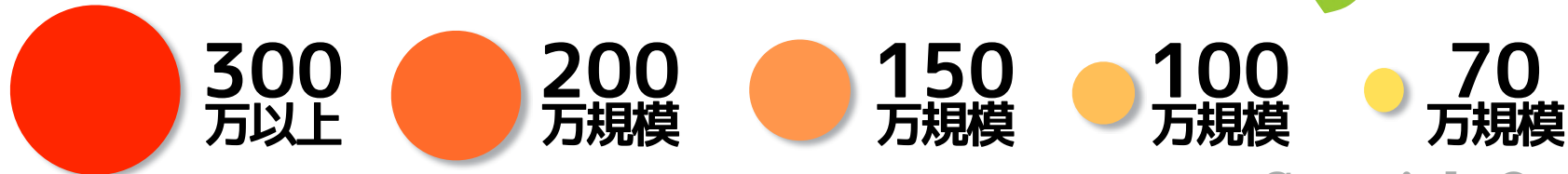


分類例① 地理的な"つながり度"

グループD 中部

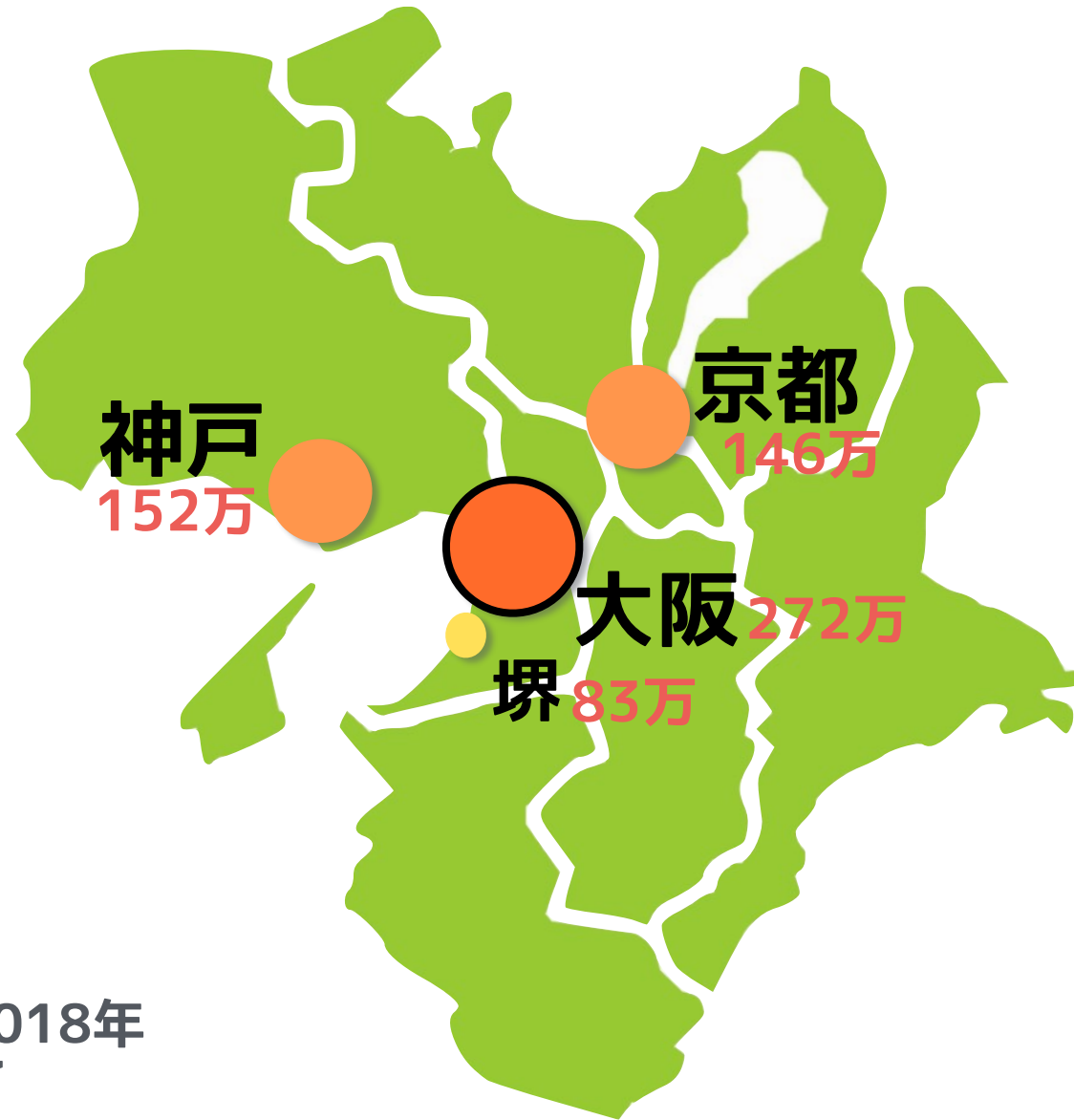


人口の統計データは2018年
1万人未満は切り捨て

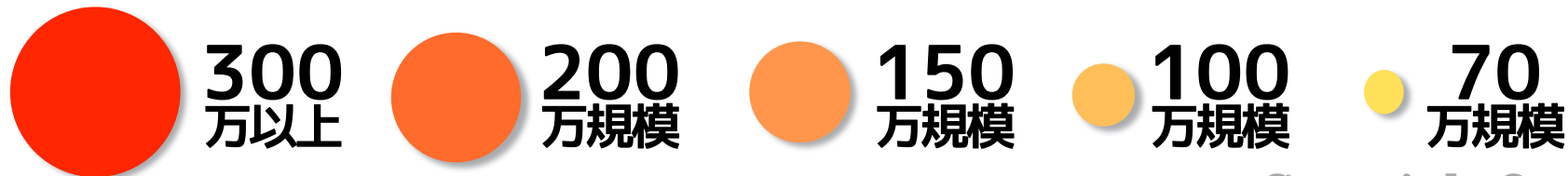


分類例① 地理的な"つながり度"

グループE 近畿



人口の統計データは2018年
1万人未満は切り捨て

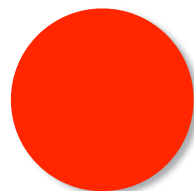
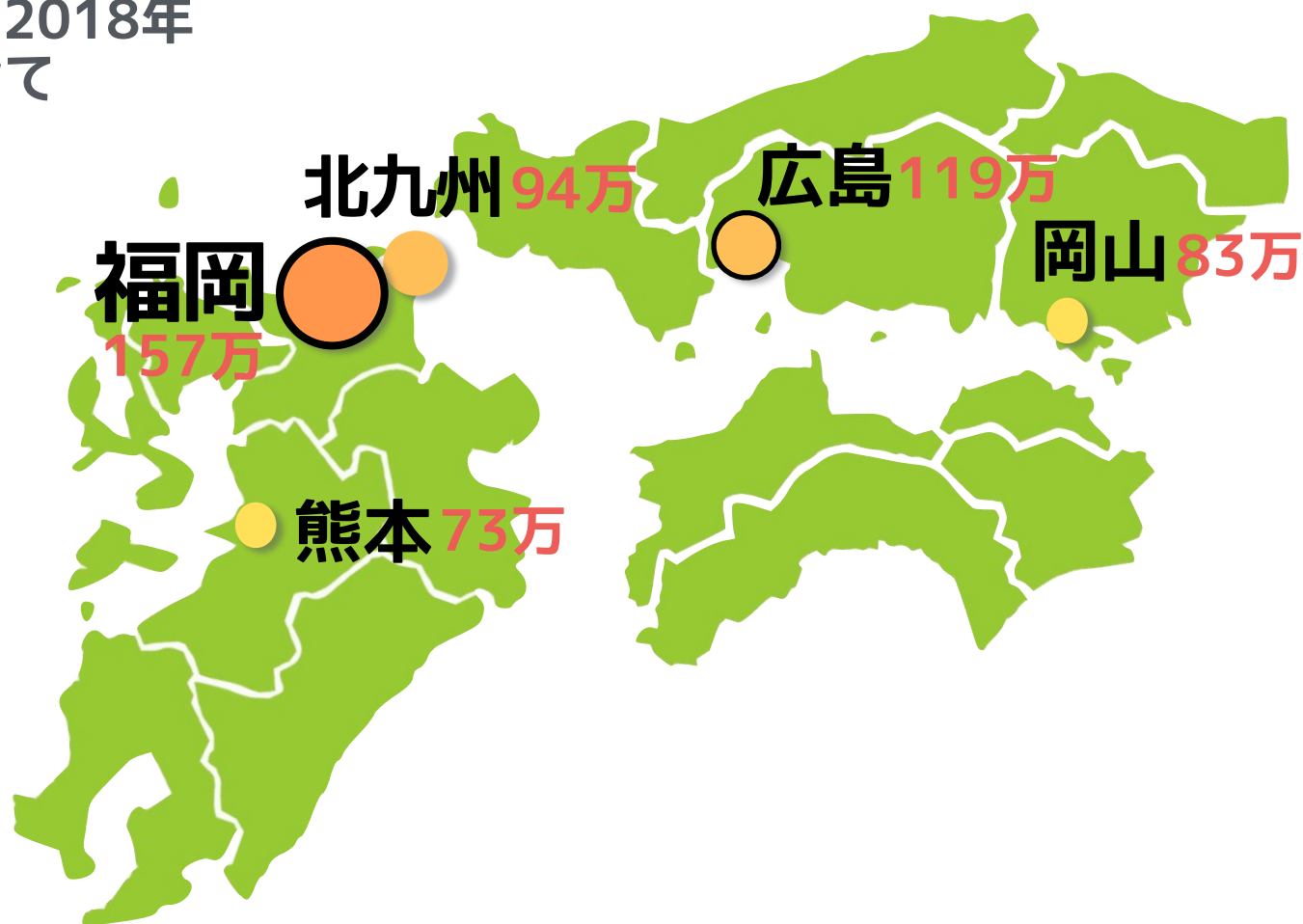


分類例① 地理的な"つながり度"

グループG九州

グループF 中国・四国

人口の統計データは2018年
1万人未満は切り捨て



300
万以上



200
万規模



150
万規模



100
万規模



70
万規模

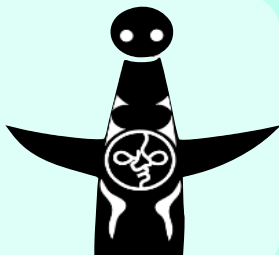
分類例② 歴史的な経緯

グループA
初期メンバ
1956年



東京
大阪 京都 名古屋 横浜 神戸

グループB
高度成長期組
1960年~



北九州 川崎 福岡 札幌

グループC
第二軍の昇格
1980年~



広島 仙台 千葉 さいたま

グループD
平成大合併組
2005年~



静岡 堺 新潟 浜松
岡山 相模原 熊本

分類例③ 人口の規模

グループA
200万規模



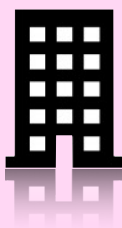
東京	横浜	大阪	名古屋	札幌
955万	374万	275万	232万	195万

グループB
150万規模



福岡	神戸	川崎	京都
157万	152万	151万	146万

グループC
100万規模



さいたま	広島	仙台	千葉	北九州
129万	119万	108万	97万	94万

グループD
70万規模



堺	新潟	浜松	熊本
相模原	岡山	静岡	